別紙1

平成23年度 事務事業評価調書（事後評価用）

北広島市

平成23年5月20日現在

計画事業番号	649	事務事業名	上下水道料金収納業務委託事業	担当部署	水道部　業務課	電話	内線874

【基本情報】

事務区分	■自治事務　□法定受託事務	根拠法令等	水道法第2条の2、下水道法第20条第2項				
事務事業開始年度	昭和55年	個別計画等					
〃　終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	公営企業	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系		（第　5　章）　快適な生活環境のまち
		（第　5　節）　水道の整備
		（施策　4　）　水道経営基盤の強化
2 対　象		上下水道料金の滞納者
3 目的と内容		上下水道料金の未納者に対する催告や個別徴収を行い、納入の促進、滞納整理を実施する。
4 実施内容（手　段）	22年度まで	委託事業の収納員は3人で、地区別に担当を決め未納の家庭を巡回し料金の催告や徴収を実施している。 H20年度：3,649件28,607,193円徴収　H21年度：3,690件28,263,040円徴収　報酬＝基本給+徴収金額×10%(一律) H22年度から徴収業務の徹底化を図るために、徴収金額に応じた段階的な歩合制（12%,10%,8%）を導入した。 100万円以上の徴収額の場合　12%　80以上100万円未満の場合　10%　80万円未満の場合　8% H22年度：4,123件31,624,884円徴収 収納員委託料　7,053千円　（内訳：固定分　3,744千円　歩合制　3,309千円）
	23年度	上下水道料金収納業務委託事業は収納員（3名）が、未納の家庭を巡回し未納者に対し料金の催告や個別徴収を実施している。　収納額実績：平成20年度28,607千円　平成21年度28,263千円　平成22年度31,624千円 ◎平成22年度からは収納額に応じた歩合制を導入し徴収を強化している。　当月の徴収金額が100万円以上の場合　徴収額の12%　当月の徴収金額が80以上100万円未満の場合　徴収額の10%　当月の徴収金額が80万円未満の場合　徴収額の8% 収納員委託料　6,678千円　（内訳：固定分　3,744千円　歩合制　2,934千円）

【事業の計画・実績】

平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
計画	実績	※計画	※計画	※計画
3人収納員の収納員により、地区別に担当決め未納者に対し督促や徴収を実施する。 収納見込件数 3,000件	H22年度 4,123件　31,624,784円徴収	3人収納員の収納員により、地区別に担当決め未納者に対し督促や徴収を実施する。 収納見込件数 3,000件	3人収納員の収納員により、地区別に担当決め未納者に対し督促や徴収を実施する。 収納見込件数 3,000件	3人収納員の収納員により、地区別に担当決め未納者に対し督促や徴収を実施する。 収納見込件数 3,000件

（※ 平成23年度の計画については、年度当初の計画内容を、平成24・25年度の計画については、推進計画の計画内容を記入してください。）

【評価コメント・評価結果】

			評価区分
前年度2次評価	現状継続	自己評価のとおり現状継続とする。	「拡大重点化」 「現状継続」 「見直し」 「統　合」 「休止・廃止」 「終　了」
1次評価	現状継続	平成22年度から徴収業務の徹底を図るため収納額に対して歩合制を導入し、徴収額も増加していることから事業を継続する。	
2次評価			

【事業費の推移】

（単位：千円）

			平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			7,053	6,644	6,644	6,644
事業額	直接事業費	国支出金				
		道支出金				
		地方債				
		その他特財				
		一般財源	7,053	6,644	6,644	6,644
		① 合 計	7,053	6,644	6,644	6,644
	人 件 費	② 人 数（年間）	0.10	0.10	0.10	0.10
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ ＝②×③	900	900	900	900
	総事業費①＋④		7,953	7,544	7,544	7,544

【評価指標】

	指 標 名		単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	①過年度繰越額	目標値	千円	138,055	136,730	136,730	136,730
		実績値		138,055			
	②収納金額	目標値	千円	29,340	30,000	30,000	30,000
		実績値		31,624			
	③	目標値	千円				
		実績値					
	④	目標値					
		実績値					
成果指標	① 委託業務収納割合	目標値	%	21.3	21.9	21.9	21.9
	【収納金額/過年度繰越額】	実績値		22.9			
	②	目標値					
	【指標の定義（算式等）】	実績値					
	③	目標値					
	【指標の定義（算式等）】	実績値					

【評価項目】

	チェック項目	評点	平成22年度における評価 （現状と課題）
妥当性	・市民や社会の要求に合致しているか ・上位施策を達成するために必要な事務事業か （目的妥当性の度合） ・行政が関与しなければならない事務事業か （公共性・公益性の度合）	3	公営公益事業であることから、市民の負担の公平性からも徴収していく必要がある。
有効性	・成果指標値から見て、目標の達成度はどの程度か （達成度合） ・目的を達成するための手段(実施方法)は有効か （手段有効度合）	3	収納員の徴収業務について成果主義を導入して実績に応じた報酬とした。
効率性	・投入した予算や人員に見合った効果が得られているか （費用対効果の度合） ・効率的な方法で実施しているか （同じ経費でもっと効率的な方法はないか）	3	滞納者の減少を目標に委託業務を進めており、夜間・休日の対応が多いため経費の上からも効率的に進めている。
公平性	・受益者負担は適正か ・当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	―	該当なし
評点区分	3 適 切	2 改善の余地がある	1 不 適 切

【 法律で実施が義務付けられている事務事業か 】	□ 法律の義務付けあり ■ 法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】 （事業担当部局が評価）	□ 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 ■ 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。